

# 地元団体と連携した緑化の取り組み

- ・桜島島内で活動されている「桜島どんぐりの森管理委員会」は、平成13年に「桜島どんぐりころころ植樹祭」実行委員会として、「地球に緑を、桜島を緑に」というスローガンに発足され、植樹活動を実施してきました。
- ・これまでに実施した植樹活動では、小中学生やボランティアを含め、約9,000人以上の参加を得て、桜島島内に約2万本の植樹を実施するなど、桜島の緑化活動を推進してきました。また、植樹する樹木は、桜島周辺の小学校・中学校と連携し、どんぐりの種蒔きから育苗活動を実施し、育てた苗木を植樹するといった地域ぐるみの活動も実施し、緑を育み自然を大切に作る心の育成や環境保全の意識向上に努めています。
- ・現在は、20年の活動を節目に「桜島どんぐりの森管理委員会」に名称を変更し、既植栽地の下刈りや枝打ち等の森林整備活動を継続しています。



植樹活動の状況



①約20年前に実施した植樹の状況



②①の20年後の状況

## 長谷川砂防設備における「桜島どんぐりの森管理委員会」との連携

- ・平成23年度から遊砂地（土石流を捕捉）及び流路工（土石流を誘導）の砂防設備を整備しました。長谷川遊砂地対岸の鹿児島市街地にある島津家別邸「仙巖園」は日本を代表する大名庭園であり、長谷川遊砂地は仙巖園からも明瞭に確認できるため、設計段階から眺望景観に配慮し、地元の意見も踏まえながら、護岸の緑化や修景盛土、植栽を行いました。
- ・その中で、「桜島どんぐりの森管理委員会」を中心に大隅河川国道事務所、地元住民等と遊砂地付近で約1,000本の植樹を実施するとともに、除草作業や肥料まき等の維持管理も行っていただき、砂防設備における眺望景観の整備にも尽力いただいています。



▲仙巖園と桜島（遊砂地整備前）



仙巖園：桜島を築山に錦江湾を池にみたてた借景の庭園。施設一帯が世界文化遺産に登録。



桜島どんぐりの森管理委員会と協働で除草作業等を実施

